

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	恵那市	学校名	恵那市立上矢作中学校			
校長名	棚橋 剛	対象学年	全学年	人数	49人	
活動名	上矢作フォーラム&プロジェクト100		時間数	第1学年50時間 第2・3学年70時間	継続年数	5年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [] 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [] 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [施設訪問 地域貢献] 6 その他（ ） []					
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の年間計画に位置付け、学年に応じた課題の設定をして取り組む。 ・地域の「まちづくり委員会部会」と連携し中学生も同じ組織をつくり、その一員として取り組む。 					
<p>1 ねらい</p> <p>(1) 地域社会の一員としての自覚と行動のできる実践力を育てる。</p> <p>(2) 地域の人と触れ合うことで、ふるさとを知り、ふるさとを愛する気持ちを育てる。</p> <p>(3) 地域に積極的にはたらきかけることで、主体的な姿勢を身につける。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>生徒が地域のために何ができるかを考え、確かな願いをもち、その実現に向けて地域に向けて活動を展開する。計画→活動の相談（提案）→実践→活動のまとめ（発表）</p> <p>〈4月〉 組織づくり・所属部会決定（福祉・環境・子育て・文化財保護・特産品・伝承芸能）</p> <p>〈5・6月〉 ・まちづくり委員会部会の方の話（町の実態・取組・課題・町の未来） ・年間の実践計画づくり（地域の一員として中学生としてできることや町に提言することを意見や提言内容として計画）</p> <p>〈6月中旬〉 上矢作フォーラム①→ 地域のまちづくり委員会部会の方との話し合い 意見交換 企画会議 実践の計画</p> <p>〈6～11月〉 ・実践「上矢作プロジェクト100」の取り組み</p> <p>〈11～12月〉 実践レポート・プレゼンテーションの作成</p> <p>〈12月中旬〉 上矢作フォーラム②→実践発表 地域に公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（第一部）生徒全員の実践発表と講評（部会別） ・（第二部）代表生徒の発表や来年度の方向について（全体） <p>〈1～2月〉 活動のまとめ</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「まちづくり委員会部会」の全面協力により、中学生と地域住民が共に地域の姿について考え、地域に出て活動し、地域のためになることを実践していくことができた。 ・過疎化と高齢化の進む町で、中学生が町のためにできることを考え、できる範囲で実践していこうとしたことが地域の人たちの共感を得て、やる気を起こさせ、地域の活性化にもつながっている。 <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と関わりながら、地域の一員として地域のために活動し貢献しているという実感が生徒の喜びにつながり、自信と誇りをもてるようになった。 ・地域の課題について知り、地域にはたらきかける活動を通して、地域を大切に思う気持ちを育てることができた。 ・地域の実態や問題に対して考え、地域活性化のために自分なりのテーマを決め、提案内容をプレゼンテーションとしてまとめて発表することを通して、表現力を高めることができた。 						